

教員の個人評価結果について

部局名：多言語多文化教育研究センター

令和2年度において以下のとおり教員の個人評価を実施しました。
ただし、評価対象者が少なく個人が特定されるため、評価結果については公表しません。

個人評価の実施状況

1. 実施スケジュール

評価対象期間	平成29年4月1日～令和2年3月31日
自己申告書の提出	毎年度終了後の翌年6月末まで
所属長評価	令和2年7月1日～令和2年9月10日
評価結果の通知	令和2年9月10日
不服申立	—
所属長による再評価	—
評価結果の確定	令和2年9月18日
活動改善計画書の提出	—
学長報告	令和2年10月5日

2. 対象教員数、個人評価実施者数、実施率

- 対象教員数：9名
- 個人評価実施者数：9名
- 実施率：100%

3. 実施内容及び方法（評価領域や評価の手順等）

各教員は毎年、「大学情報データベースシステム」に「教育・研究・社会貢献・管理運営・センター関連」のそれぞれの領域について前年度分データを入力し、「教員個人評価のための自己申告書」を作成し提出している。多言語多文化教育研究センター長は、提出された「教員個人評価のための自己申告書」並びに3年間を通した全体的な達成状況の報告について、検証及び評価を行った。

当センターは、令和2年1月1日付けで「語学教育センター」から「多言語多文化教育研究センター」へと再編し、より多様な言語及び文化に関する教育研究を担うことを色濃く打ち出しているが、各教員の専門領域及び業務の所掌並びに業務経験に違いがあるため、それぞれの活動を考慮した評価を行った。

また、評価結果と併せて、現状の活動から判断されたセンター長としての見解と今後の業務遂行についての留意点を伝えた。